

昭和10年4月25日 昭和

和名同誌記 報先

東京大工同業組合

東京大工同業組合第一回総会を大工十多回し十九日午後九時より神田区牛房館に於て開催したの端を以て聘して講演を乞ひたり。出席総員六百名を以て但存員若くは存費と一五五名を以て拘限たる者には限りぬ場聴講を許したり(此直に存費を催たること~~あり~~との事なり也)

荒木松多良也(但存常務理事)

但存の辞に代へて但存現在の能力を慨し今後緊密第一層努力して將來の発展を期しと抱負を述べ但存員の各自の覚悟と覚醒と得たり

前田多門也(東京市助役)

他の但存に率先して勉むすべし大工但存をなれぬは己に在りて第一回総会を案くに在りたるは運轉の感ありぬれ共各自の自覚